

令和3年度作手地域地域自治区予算 検討結果

分野	出された意見
住民交流	<ul style="list-style-type: none"> ○交流会など、外国人移住者に対する支援策。 ○地域の高齢者の意見を聞く会の実施。 ○サマカン、つくで祭りなど、作手のみんなが集まる場がなくなっている。つくで祭りの補助金もないと聞いているのでつくで祭りに予算をつける、又はその代替策。 ○サマカンがなくなり、昨年度は手弁当で「つくでてをどり」を実施した。「つくでてをどり」へ予算をつける。 ○子供が遊ぶ場がないので、廃校跡地を活用できるとよい。また、遊具も使えるように出来ると良い。 ○各団体のイベントなどを、一般のお店がやっているようにQRコードや、SNSなどで周知する。
道路・交通・環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ソーラー発電事業者の参入に対する区民の不安がある。 ○隣地、あるいは生活道路に立つ倒木間際の枯木について、住民はどこへ相談すればよいか、誰の責任で撤去するのか分からない状況である。防災面からも、道路沿いや住宅敷地などの危険のある樹木を伐採する時の補助や、高所作業車の借り上げ補助があると良い。 ○デマンドバスの運行時間について、現行は夜午後7時00分までであるが、午後9時00分と変更すれば会合などへの利用が見込めると思う。 *デマンドバスの利用状況、登録者数や利用時間帯を知りたい。 ○国道301号の速度制限が40km/h区間を50km/hに緩和するよう働きかける。 ○国道、県道、市道の通学路となっている箇所草刈を現在やっていただいているが、タイミングが遅く感じる。草刈りのなどの整備予算をつけて対応出来ると良い。 ○市道の穴が空いている箇所の補修をする。
農業	<ul style="list-style-type: none"> ○面積の小さな田畑の場合、借り手がなく荒廃し、土砂崩れの原因となるので対策が必要。 ○耕作地の草刈りと共に、生活道路の草刈りも高齢化に伴い作業が困難。 ○新規就農者は、住む家が見つからず市営住宅に入っている。前年度収入により家賃があがるが、新規就農者は安定するまで大変なので、家賃補助が出来ると良い。 ○米農家などは、草刈りが大変。草刈り対策と農業機械代の補助が出来ると良い。 ○井戸掘り補助。 ○田舎暮らし体験（草刈り、農業体験）をイベントとして実施。空き家をシェアハウスとして活用し、空き家対策にも繋げる。 ○新規就農者などに、リタイアした農業者の中古機械をシェアする。 ○草刈り隊を募集する。
防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯カメラの設置を市で行って欲しい。地元管理だと地区の人的負担も増えるのではないかと心配。今一度、防犯カメラ設置について説明が欲しい。 ○行政区でグループ（3,4軒）を作り、安否確認し区長へ報告するような体制づくり。 ○災害により携帯電話が使用できなくなったり、道路が寸断される恐れがあるので、GPSを区へ配ったり、ドローンを活用し被害確認ができるとよい。 ○区長は毎年変わっている。マニュアルがあると災害など、いざという時にスムーズに動けるのではないかと。 ○停電が長びいた時のために、発電機などを貸出できるように整備してはどうか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○人材派遣会社のようなものを作り、若い人も登録していただき、色々な業種に対応していく。 ○中学校の太鼓の傷みが激しいので、張替の修繕をしてはどうか。 ○小学校校庭で野球をやっているが、フェンスがないためボールが市道に転がり、小学生が飛び出し危険を感じる。フェンスを設置してはどうか。 ○支所駐車場から学校・つくで交流館への道路横断が危ないので、横断歩道を設置。 ○独身者が多いので、出会いの場を設ける。 ○学校敷地への不審者侵入防止対策。